

## 投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (太田吉哉)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 2.2 億円
		急傾斜地崩壊対策事業 よこゆき < 横行(2)地区 >	養父郡 大屋町 よこゆき 横行		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
養父郡 大屋町 横行				H15年度	H18年度
事業目的			事業内容		
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命を保護する。			急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 350m		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横行(2)地区は、急傾斜地崩壊危険箇所である。</li> <li>・ 保全人家17戸及び、町道、(一)大屋川、公民館(避難場所)がある。</li> <li>・ 人家裏の斜面には過去の崩壊跡、オーバーハングした岩盤があるなど、不安定な状態であり、斜面崩壊の危険性は高い。</li> </ul>			
快適性・ゆとり					
その他					
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保全人家17戸に加えて、町道、避難場所(公民館)等があり事業効果が高い。</li> </ul>			
効率性					
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斜面崩壊防止工事により、山村部の良好な緑の斜面を保全できる。</li> </ul>			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斜面裾オーバーハングした岩塊や、過去の崩壊跡がみられ、崩壊の拡大や新たな崩壊の危険性が高く、早急な対策が必要である。</li> <li>・ 斜面の崩壊により人命(人家17戸)、町道、避難場所等公共施設に被害が生じる。</li> </ul>			